



産学連携とイノベーション

(1)産学連携の必要性

中小企業活力向上ネクストオンラインセミナー
戦略・経営者分野

中小企業活力向上プロジェクトネクスト実行委員会事務局



産学連携とは

- 産＝民間企業
- 学＝大学

産学連携とは、
広く「**企業と大学の連携**」を指します。



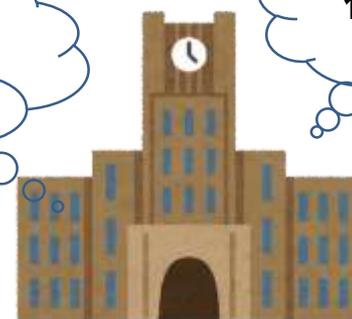


なぜ産学連携に取り組むか

- 少子高齢化、人口減少
⇒労働人口の減少
⇒国際競争力の低下

知的財産

研究力



- 人口減少下でも
持続的に成長していく取り組みが必要！



産学連携





産学連携の活発化

- 1998年 大学等技術移転促進法(TLO法)
 - 大学の研究成果の民間への移転が加速
- 1999年 日本版バイ・ドール制度
(産業技術力強化法第17条)
 - 政府資金による委託研究開発にかかる知的財産権を、受託者に帰属できるように
- 2003年 国立大学法人法
- 2006年 新教育基本法
 - 研究成果の社会還元が明文化



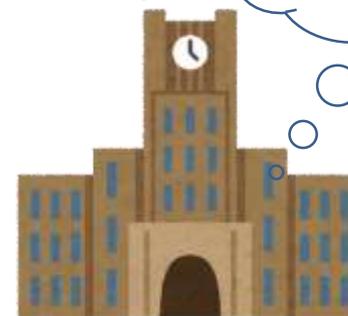
オープンイノベーションと産学連携

製品ライフサイクルの短期化

研究開発人材の不足

知的財産

研究力





産学連携の動向

民間企業からの
研究資金等
受入額

- ・ 平成29年度 約960億円
- ・ 前年比 約112億円増加

知的財産等
による収入額

- ・ 平成29年度 約42.9億円
- ・ 前年比 約7.4億円増加



まとめ

- 産学連携とは、
民間企業と大学の連携した活動のこと
- **【大学側】**
 - 大学の研究成果を社会に還元する
 - 研究開発費を獲得する
- **【企業側】**
 - 企業の経営資源不足を補う
 - 開発期間の短縮化が期待できる